

## “STAY HOME” OR “STAY AT HOME”?

臨時休校期間の延長が正式に発表され、ある程度予想していたとは言え、気持ちの切り替えが難しいと感じている人も多いことでしょう。みなさん、元気ですか。

さて、見出しの表現はどちらも正しい英語です。前者は、スローガンとして連呼されているのでポピュラーですね。では違いは何でしょう。わかりますか？

### 『語彙を豊かにするために』～Vocabulary Building

前者の **home** は副詞「家に」です。後者の **home** は名詞「家」です。この様に語には品詞があり、多くの語は複数の品詞の働きをします。例えば、**volunteer** は、名詞では「ボランティア、有志」、自動詞では「(～しようと) 申し出る(to do)」です。また、動詞の場合、多くの語が自動詞、他動詞の両方の働き（意味）を持っています。そして、意味はたくさんありますね。みなさんは、そのたくさんの意味の中からいわゆる「入試頻出」の代表格をまとめた単語帳・単語集をとりあえず覚えているわけです。しかし、その落とし穴は、一英単語が日本語では決してないということです。少なくとも取り上げられている赤い文字だけではなく黒く細い文字もカバーをすること、しようとする事です。また、その語の周辺にある仲間の語、親戚の語、同義語、異義語を語源や語の成り立ち（語幹、接頭辞、接尾辞等）を知ることによって更に定着は良くなり、未知の語の意味を想像・予想することにもつながります。センター試験後に、ある生徒から「ターゲット以外のものを学習した方がいいですか？」とたずねられました。みなさんはどうですか。確かにターゲットは頻出度に基準をおいて構成されています。英検準1級を基準に構成されているもの、東大をはじめとするいわゆる難関校の受験をうたい文句にしたものもあります。しかし、私がその生徒に言ったのは、「新しいものを求めるよりも今持っているターゲットを使い切ったという気持ちの方が大事だ」ということです。もちろん時期的なこともありましたが。それぞれの教材には一長一短あります。用途の違いもあります。要は、どんな教材でもいいから使い切ること。時間をかけて仲良くなることです。使えば使うほど味が出てきます。自分なりの書き込みや付せんを貼ってオリジナルのものを作ってみましょう。それとは別に模試や他の教材で出会った語（句）をまとめて書き出し、マイ単語帳を作るのもいいでしょう。

### 『コミュ力を強化するために』～Communicative Skills

“コミュニケーションのうまい人とは、だれとでも友達になれるとか割と簡単に人間関係を築ける人のことではなく、物事がもめたときに何とかできる能力がある人だ。”

NHK Eテレ『SWITCH インタビュー達人達（たち）』 作家・演出家 鴻上尚史

まさにその通りです。ただ自分の言いたいことを言うだけなら、ある程度言葉を学習すればできるようになるでしょうが、意見が違ふ時にどう応じるか交渉できるかは別のレベルです。今、テレビや新聞やインターネット上で様々な新型コロナウイルス感染症に関して論じられています。PCR 検査、マスク、医療体制、健康か経済か、偏見・差別、中傷・デマ、リーダーシップ等議論のネタはつきません。これほど家族で議論になったり、テレビに向かって意見を言ったり、つっこんだりすることはなかったように思います。こんな時にこそ賛否両方の意見を見聞して、自分の意見を持ってほしい。それを文字にしたり、口に出したり、表現してほしいです。賛否両方の立場で意見を持つことは、大学入試はもちろん、これから生きる社会できっと役に立ちます。英語で意見を述べるにしても、小論文を書くにしても、日本語で述べること、書くことができなければ、太刀打ちできませんね。そのためには、複数のテレビ局のニュース番組や特集番組を観て、複数記事を新聞で読み、インターネットの記事も複数読んでください。

## 『リスニング力を強化するために』～Listening Comprehension

リスニングについては、舟入専用サイトの3月に発信された英語科からの記事にも特集されています。ぜひ、参考にしてください。身近な方法として提案したいのは、楽しく英語を聴くこと。例えば、無料音楽アプリ Spotify で好きな歌手の英語の曲で歌詞を表示させて生きた英語を味わうこと。NHKBS1 のワールドニュースや CNN スチューデントニュースを音声切換で英語で視聴すること。COOL JAPAN を英語字幕を参考にして視聴すること。また、手持ちの音声教材を探してください。高1、高2 で使った教科書 CD やリスニング教材、過去の英検受検で使った CD など何でもいいです。1日30分聞く習慣を作ったらかなりの力になると思います。まさに「習うより慣れよ」です。次はやり方の例です。

- (例) 1回目～普通に聴く 2回目～英語を見て聴く 3回目～普通に聴く  
+α 4回目～英文をぶつぶつ読みながら聴く (英文を見てても諳んじててもよい)

今後、これまでの英語課題に対して、①Write to the Point の解答と②ELEMENT のサイトトランスレーションなどの配付があり、追加の課題が提示されます。

- ①については自己添削をする。次に解答例をぜひ暗唱してください。力になります。  
②については一人ペアワークをする。英語を読んだ先から和訳をしていく。通訳のごとくです。スラッシュで意味が取れるようになれば速読力と読解力が育成されます。

早くオンライン授業ができる環境が整備されれば良いと思いますが、すぐにとはいかないでしょう。今はできることをできる形でやっていきましょう。私たちもみなさんと気持ちちは同じです。

今こそ校訓「おのれに徹して人のために生きよう」の精神です。